



8年前、東京から幸手に事務所を移しましたが、仕事は相変わらず都内のクライアントのものでした。

幸手でのビジネスの足場がないまま、それでも、この地域向けのサービスを開発できないものかと考えていた時、お誘いを受け商工会青年部に入部しました。

翌年には常任メンバーに加えていただき青年部新聞のオーサリングを担当しました、集まってくる記事を見て地域の多数の業者が集まり事業を組み立てる青年部の面白さを理解したように思います。特に連載をした「幸手今昔物語」「AreYouSure(手話)?」は紙面を作るのが本当に楽しかった!

また、サッカー部を2年間任せていただき、部員の奮闘により最後の大会を優勝で飾らせていただきました、小学生の時に右目を怪我して学生時代ずっと球技を禁止されていた私には考えられなかった幸福です、胸上げしていただいた事は一生忘れません。

現役の皆さん、青年部はチャレンジできる場です、失敗をしても周囲がフォローし、時には叱り、そして肯定してくれます、どんどんチャレンジをしてください。

青年部に入って沢山のひとたちと知り合う事ができました、お世話になった全ての皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

親睦委員会委員 Future Fox 槇島孝夫

私が家業の修行を終え幸手に戻って来たのが25才の時、戻って早々ある先輩から『青年部の入部書類持っていくからよろしく』。

当時はあまり深く考えずに、地元で商売をするのだから地元の若手の商売人の方々と仲良くなっておいたほうがいいのか?位の感じで、青年部に入部したのを覚えています。入部したての頃は、個性のある諸先輩方のパワーに圧倒され戸惑う事もしばしばありましたが、今となっては本当に良い思い出になっております。

青年部に入り沢山の仲間達に出会えた事は本当に私の宝となりました。約15年間青年部にお世話になり、本当にありがとうございました。

卒業しても付き合いが無くなる訳ではないので、フットサルとかでまた皆さん遊んでくださいね!

研修委員会委員 A7-モードザン カドー 松尾達憲



幸手市商工会青年部に入り約4年が経過しましたが、あまり青年部の活動に参加してきませんでした。ただ、総会や新年会などの節目の会合に出席して感じた事は、「元気があるな!!」ということです。

青年が元気で、青年の活動が活発なところは、その地域も元気で活発で盛り上がっています。この熱い気持ち・活動が、後々の自分たちの事業の発展につながっていくと思います。これまでの経験を自分の事業にいかし、幸手市のますますの発展の一助になれるように精進いたします。

4年間、お世話になりました。ありがとうございました。

総務委員会委員 (株)日本ウォーターテックス 佐藤亮

商工会青年部 全国大会 in さいアリ



平成26年2月4日、5日、商工会青年部全国大会が埼玉の地にて開催されました。

全国の同志の皆様のご協力ご理解を賜りまして、青年部創設史上最大動員数5200名の参会を頂き、世界のさいたまスーパーアリーナを超過員(動員予定規模内にて)での開催となりました。

終わって感じる事、それはそれぞれの全国大会があったと言う事です。時間がない中で協賛金を集めて頂いた方、前日当日を泊まり込みで仕事を休んで協力してくれた方、参加したくてもできなかった方、東北から復興の中訪れてくれた方、賛成でも否定でも何でもいい、それぞれの中で5200名がこの大会に向き合ってくれた事、考えてくれた事、それが大きな一歩です。青年部の可能性、幸手に近づけるチカラを少しだけでも感じて頂けたのなら私は嬉しいです。

やればできる! 青年ですから。地域を活性化出来る! 青年部ですから。次世代に向けた幸せを創造していきましょう。

これまで埼玉大会の誘致より、実行委員長として単会からの出向の機会を頂き、地元幸手市商工会関係者の皆様よりご理解ご協力を頂きました。心より御礼申し上げます。

全国大会は終わりましたが、今日がスタートです! ありがとうございました。

監査委員 (株)芦葉建設 芦葉武尊

今日、卒業 中年よ、大志を抱け



2/19(水)、愛の献血を勤労福祉会館脇の駐車場にて実施いたしました。

ご協力頂いた、一般参加者、青年部OB、青年部員、お忙しい中多数のご参加本当にありがとうございました。

ここで献血の大切さについて書かせていただきます。

例えば、自分の家族が重い病気になり、たくさんの輸血が必要になったとき。将来、自分の子供が、病気、事故や怪我で輸血が必要になったとき。そんなとき、輸血用の血液が足りず自分の大切な人の命が、助かるはずの命が助からなくなってしまう場合を想像してみてください。

大切な命を救うためには、一人一人の献血への理解がとても大事だということを知っていただきたいのです。血液は人工的につくることも、長い間保存することもできません。だから絶やすことなく、常に血液を安定的に確保する必要があります。

献血ルームや献血バスを見かけたら、ほんのちょっとした勇気を出して足を運んでみてください。

事情があって献血できないあなたへ。献血のことを友達や知り合いの人と話してみることで、誰かの命を助けるきっかけになります。あなたには人の命を助ける力があります。献血へのご協力をお待ちしています。

次回、献血活動の予定は9月です。午前・午後と行いますのでご協力お願い致します。

研修委員会委員 柔整ゼネラル(株) 宮杉憲佳

＜献血結果＞			
受付数	200ml	400ml	献血不可
49名	4名	37名	8名
A型	O型	B型	AB型
14名	15名	11名	1名

きれいな幸手市を 次世代の子ども達のために

↓隅々までキレイに!



2月19日(水曜日)朝6時30分より、1時間ほど青年部員19名で幸手駅前ロータリーから、4号線交差点までゴミを拾う美化活動を行いました。

予定では15日(土曜日)だったのですが、20年ぶりの記録的な大雪となつてしまい19日に延期となりました。朝早く、まだまだ道路・歩道脇に雪が残る寒いなかでの活動となりましたが、大勢の参加者のおかげで、短い時間の活動でしたがたくさんのゴミを拾う事が出来たと思います。

参加して下さった皆様ありがとうございました。次回も多数の参加を宜しくお願い致します。

研修委員会副委員長 島住建 島田徳浩

幸手から少しでもゴミが減ることを願います。

↓寒いけどみんなで頑張ってます!

